

山形県感染症発生情報

第6週(平成22年2月8日～平成22年2月14日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	87	▼	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	12	▼	
咽頭結膜熱	15	▲	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	111	▼	多発中
感染性胃腸炎	455	▽	多発中
水痘	58	△	多発中
手足口病	33	△	
伝染性紅斑	5	△	
突発性発しん	23	△	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	0	▽	
流行性耳下腺炎	59	△	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	12	▲	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	2	△	
マイコプラズマ肺炎	1	△	
無菌性髄膜炎	0	▽	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50人以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)	
	第6週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	4	8	2	19
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	1
	パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	1
	アメーバ赤痢	0	0	0	1
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0	
麻しん	0	0	0	0	

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は1.81人で、4週連続で減少している。

衛生研究所のウイルス分離結果によれば、型別は2月9日現在、新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。

2 感染性胃腸炎は、第1週以降5週連続で増加していたが、今週は前週に比べ約2割減少した。患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、米沢市、鶴岡市で定点当たり報告数が多い(米沢市:16.0人、鶴岡市:7.5人)。

4 水痘が、最上地区で急増しており、定点当たり報告数が8.3人で、警報基準値(7.0人)を超えている。

5 手足口病が、置賜地区で増加している。特に、米沢市、長井市で定点当たり報告数が多い(米沢市:6.0人、長井市:5.0人)。

6 流行性角結膜炎が、3週連続で増加している。特に、最上地区で定点当たり報告数(8.0人)が多く、警報基準値(8.0人)に達している。

7 細菌性髄膜炎の患者が、村山地区から2名報告された(病原体:インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属)。

8 結核の患者が、村山地区から1名(東南村山)、最上地区から2名、置賜地区から1名(東南置賜)報告された。

(2月16日現在 山形県衛生研究所)